

一般質問通告書

平成26年9月定例会

1番 河野 朋子 議員

1 市民参画のまちづくりについて

(1) 審議会等のあり方について

ア 審議会等の委員の選定はどのようにしているのか。

イ 審議会等における公募委員の参加状況はどうか。

(2) 観光振興ビジョンについて

ア 観光振興ビジョン策定の目的は何か。

イ 観光振興ビジョン検討委員会の選考基準は何か。

(3) 多様な市民の声の反映について

ア 若者の声を聞く場の設定について、現状はどうか。

イ 対話の日の活用など、今後新たな場の設定は考えているのか。

2番 笹木 慶之 議員

1 人口減少対策について

(1) 本市の現状分析と課題を踏まえたその対応と将来展望について伺う。
(市全体の問題と各地域ごとの問題を分離して考察する必要があると考
える。)

(2) 本市の特性を生かした施策を効果的かつ効率的に推進するための「基
本施策」・「重点施策」の策定を行い、全市民の理解と協力のもと全力を
あげて取り組むべき喫緊の課題と思うがその対応について伺う。

2 市民が安心して暮らせる環境づくりについて

事務事業評価シートに基づき、現状と今後の取組について伺う。

(1) 河川管理事業について

(2) 内水対策事業について

(3) がけ地等崩壊対策事業について

3 魅力と活力ある産業の振興について

事務事業評価シートに基づき、現状と今後の取組について伺う。

(1) 中山間地域づくり推進事業について

(2) 林業の振興について

(3) 有害鳥獣対策について

- 4 多彩な芸術文化とスポーツの振興について
事務事業評価シートに基づき、現状と今後の取組について伺う。
 - (1) 伝統行事の継承について
 - (2) スポーツ・レクリエーションの振興について

3番 大井 淳一郎 議員

- 1 空き家対策について
 - (1) 空き家の数は年々増えており、居住環境を阻害している。市は空き家の実態を把握できているのか。今後どのように対応していくのか。
 - (2) 優良な空き家は住宅ストックであるとの見方ができ、これらを活用することで定住促進につなげることができる。市は空き家の活用についてどのように取り組んでいくのか。
- 2 文化財の保護と活用について
 - (1) 「ふるさと文化遺産」登録に向けての進捗状況及び今後まちづくりにどのように生かしていくのかについて問う。
 - (2) 文化財保護条例の改正を受けて、市は文化財保護と活用を今後どのように進めていくのか。
- 3 山口東京理科大学との連携について
 - (1) 市は包括協定に基づいてどのような連携策をとっているのか。山口東京理科大学が「地域連携センター」を設置することを受けて、市はどのように連携強化を図っていくのか。

4番 河崎 平 男 議員

- 1 教育委員会制度を改革するための改正地方教育行政法の成立について
 - (1) 施行に当たり、本市の対応はどのように考えているのか。
 - (2) 新教育長の創設や首長の権限が強化されるが考えを問う。
 - (3) 総合教育会議とはどのようなものか。
 - (4) 仮称小中一貫教育学校の制度化について問う。
- 2 文化財の保護と活用について
 - (1) 郷土資料についての考えを問う。
 - (2) 文化財の保護活用の考えを問う。
 - (3) 図書館の郷土資料室や旧民俗資料館の文化財について問う。
- 3 埴生小学校の耐力度調査について
 - (1) 調査の進捗状況について問う。
 - (2) 今後の工程はどのようになるのか。
- 4 埴生地区公共施設再編について

- (1) 取組状況について問う。
- (2) 青年の家やプールなどの状況について問う。

5 自然保護と動植物の保護活用について

- (1) 本市の絶滅危惧種や特定外来生物などの状況について問う。

5番 中島 好人 議員

1 白井市長が目指すまちづくりについて

- (1) 若い人が自信や希望が持てる山陽小野田市にするためにどのように取り組んでいるか。
- (2) まちづくりには、施策だけでなく、それを担う人づくりが欠かせないが人づくりについてどのように取り組んでいるか。
- (3) 当市のあらゆる「まちづくり計画」の策定については、市民が中心となって進められているのか。

2 観光振興ビジョンについて

- (1) 4つの基本戦略を中心とした素案は、どのようにして策定されたのか。
- (2) 観光振興ビジョン検討委員会の委員の構成はどのようにして決めたのか。
- (3) 市民は、計画策定や計画後の実施部隊としてどのようにかかわっていくようになるのか。

3 国保事業について

- (1) 国保資格証明書所持者への受診確保を。

4 住宅リフォーム助成事業の拡充を。

- (1) 住宅リフォーム助成事業についてどのように評価しているか。
- (2) 店舗へのリフォームも対象とすることについて

5 公営住宅入居時の保証人免除について

- (1) 保証人免除規定の制定及び条件の緩和について

6番 長谷川 知 司 議員

1 高齢者雇用対策について

市総合計画の中の基本計画で、「高齢者、障害者が安心して自立できる環境づくり」とあり、生涯現役社会づくりの推進としての具体的取組とその成果を聞く。

2 スポーツによる市の特色づくりについて

スポーツ、文化による市の特色づくりを進めているが、スポーツについての具体策を聞きたい。特に、スポーツ少年団と各種クラブ等青少年への支援は、具体的にどのようにしているのかを聞く。

3 公共施設の休館日について

- (1) 市の公共施設の休館日は、各々どのように決めているのか。また休館日は必要なのかどうかを知りたい。
- (2) 同様な施設で、休館の内容が異なっているのは、なぜなのか聞く。

4 議会答弁後の執行部の事業執行について

議会答弁の中で、市長はじめ執行部で回答した事項は、市民のために即事業や予算編成等に活かしていると思うが、内容確認や処理期限及び事業の発展的検討等をどのように行っているのか聞く。

また、上記についてのPDCAサイクルのうち、どのようにチェックしているのかを聞く。

7番 中村博行 議員

1 コンパクトシティ構想について

- (1) 計画策定の進捗状況はどうか。
- (2) 構想にあるコンセプトはどういったものか。
- (3) 都市計画マスタープランとの整合性はどうか。
- (4) 土地開発公社所有の土地は十分利用できるか。
- (5) 国・県からの支援・指導、負担割合はどうか。
- (6) 今後の取組はどうなっているか。

2 農業政策について

- (1) 農地中間管理機構の目的は何か。
- (2) 農地の貸出・借受システムに課題はないか。
- (3) 本市の実情にあった制度といえるか。
- (4) 青年就農の現状に問題はないか。

3 スマートフォンの使用について

- (1) 小・中学生の所持の現状はどうか。
- (2) 使用時間についての把握はしているか。
- (3) ラインの問題点についての認識はあるか。
- (4) 使用の規制についての考えはどうか。

4 ふるさと納税について

- (1) オートレース選手会の寄付に依存している現状をどう考えているか。
- (2) 成果を挙げている他市についてどう考えているか。
- (3) シティセールスの一環として積極的な展開をしてはどうか。
- (4) 業務の一括代行を委託することについての考えはあるか。

8番 松尾数則 議員

- 1 アスベスト並びに揮発性有機化合物（VOC）対策について
 - (1) 学校建築物のアスベスト並びに揮発性有機化合物（VOC）対策は十分か。
 - (2) 市が管理を行っている公共建築物、例えば公民館、青年の家、児童館のアスベスト並びに揮発性有機化合物（VOC）対策は十分か。
 - (3) 市が管理をしている構築物、例えば公園のS Lやトイレのアスベスト対策は十分か。また、ごみ焼却場の対応は十分か。
- 2 再生エネルギーについて
 - (1) 再生可能エネルギーについて山陽小野田市の考え方を問う。例えば太陽光発電、小水力発電及びバイオマス燃料について
- 3 使用済小型家電回収事業について
 - (1) 利用状況について、また、回収後どのような流れで再生利用されているのか。
 - (2) リサイクルについて山陽小野田市の考え方を聞く。

9番 吉 永 美 子 議員

- 1 防災について
 - (1) 防災メールの利用状況について聞く。
 - (2) 自主防災組織のネットワークを推進するため、組織と活動の公表について提言したが、その後の取組を聞く。
 - (3) 土砂災害警戒区域について、関係住民への周知状況を聞く。
- 2 バリアフリーの取組について
公共施設のバリアフリー整備計画策定の予定について聞く。
- 3 動物愛護について
 - (1) 環境省の「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」が6月にアクションプランを公表したことを受け、犬や猫の命を守る取組をどのように前進させるのか聞く。
 - (2) 新火葬場における動物炉設置の考えを聞く。
- 4 山陽オートへの支援について
どのような施策を考えているのか聞く。

10番 小 野 泰 議員

- 1 学校給食共同調理場事業について
 - (1) 3月議会の結果を踏まえ、今後どのような対応をお考えか。
 - (2) 3月議会の委員長報告について、どのように捉えておられるのか。
 - (3) その後どのような取組をされてきたか。

- (4) 建設面積は十分とお考えか。
- (5) デリバリー（配達・配送）計画は整っているのか。

2 水道事業の今後の取組について

- (1) 水道局と下水道課の部門統合はどのようにお考えか。
- (2) アセットマネジメント（資産管理）について

1 1 番 岩 本 信 子 議員

1 子ども・子育て支援新制度について

- (1) この制度によって今までとどう変わるのか。
- (2) 新制度移行への取組及び計画はどうか。
- (3) 認定こども園の取組はどうか。
- (4) 地域型保育の取組はどうか。
- (5) 保育料はどうか。
- (6) 放課後児童クラブの対応はどうか。

2 児童館の活用について

- (1) 児童館活用の現状はどうか。
- (2) 山陽地区について
- (3) 子育て支援の取組について

3 市民病院への交通アクセスについて

- (1) 進入新道路建設計画について
- (2) デマンド交通の延長について
- (3) 市内交通活性化委員会での検討はどうか。

1 2 番 杉 本 保 喜 議員

1 当市の防災体制の現状を問う。

- (1) 広島県北部の豪雨に伴う土砂災害を見て、当市はどのように対応、対策を検討したか。当市における問題点は、なかったのか。
- (2) 地域住民の地域に対する認識は十分であるか。この認識は避難勧告、避難指示の効果を左右すると考えるがどうか。
- (3) 当市の避難所について問う。
- (4) 防災ラジオの現状を問う。
- (5) 防災アドバイザー制度の活用策は、当市ではないのか。
- (6) 県防災訓練が、広島県の災害の件で中止になったが、当市の訓練は計画しないのか。
- (7) 職員防災訓練の実施の現状を問う。

2 観光推進組織の整備について問う。

総合計画中の「12 魅力と活力ある産業の振興」の施策展開での②中の〈主な取組〉にある本項目は、「観光振興ビジョン検討委員会」が実施されている現在、成長戦略室を中心として活動が始まっていると考えるがどうか。

3 公共施設における指定管理者制度の適切な管理運営において、モニタリングの現状を問う。

行政改革大綱アクションプランにおいて、本項目の平成25年度以降の取組内容に、「適切なモニタリングを実施する」ことが明記されている。その状況を問う。

13番 山田伸幸 議員

1 子育て日本一の山陽小野田市のために

(1) 子どもに関する部署の一本化について

(2) 教育の充実や若い女性をターゲットに成功した先進事例を参考に子育て日本一のまちづくりに取り組む考えについて

2 子ども・子育て支援新制度の中での放課後児童施策のあり方がどう変わるのか山陽小野田市の考えを聞く。

(1) 放課後も安心できる児童施策と児童館の位置づけについて

(2) 保護者への分かりやすい制度案内について

3 公共交通としてのバス路線のあり方を問う。

(1) 地域連携計画に基づく交通政策の発展について

4 山陽小野田市の大地震対策について

(1) 県が示した津波浸水被害想定について、市の捉え方と対策について

(2) 公共施設整備の基本方針について

14番 岡山 明 議員

1 子供の健全育成対策について

(1) 生活支援について

(2) 保護者への就労支援について

(3) 経済的支援について

(4) 教育支援について

(5) 施策の推進体制について

2 地域包括ケアシステムについて

(1) 認知症対策について

(2) 健康寿命の延長について

3 防災行政について

(1) 情報の伝達方法はどうか。

(2) 文化財の防災対策は。

15番 伊藤 實 議員

1 土砂災害について

(1) 当市の土砂災害への対策と課題は。

2 スポーツによるまちづくりについて

(1) どのようなスポーツをどのようにまちづくりに生かすのか。そのために市がどのように支援するのか。

3 魅力ある若者定住策について

(1) これまでの魅力ある若者定住策は何か。そしてその成果はいかがか。

(2) 子育て支援の面からの若者定住策はあるのか。

(3) 教育環境の充実の面からの若者定住策はあるのか。

4 議会改革について

(1) 当市議会の議会改革について市長の所感を聴く。

16番 下瀬 俊夫 議員

1 白井市長発言の真意は何か。

5月に行われた「ふるさとを考える会」総会で、白井市長が挨拶し「市議会が改革の名のもとに危険な方向に向いている」と述べている。この真意は何か。

2 白井市長の政治姿勢を問う。

日本国憲法に対する白井市長の基本的な考え方を聞きたい。先の6月議会の答弁で「解釈改憲は姑息だ。国民の判断は次の選挙で示される」と述べた。この答弁の真意は何か。

3 「職員提案制度」の現状と問題点について問う。

「職員提案制度」が機能を失っているのではないのか。現状と問題点を聞きたい。

4 「子ども条例」について問う。

来年は「子どもの権利条約」批准から25年目を迎えるが、各地で作られている「子ども条例」についてどのように受け止めているか。